

第7回国際原子力エネルギー協力フレームワーク（IFNEC） 運営グループ会合の結果について

平成26年5月15日
内閣府
原子力政策担当室

第7回 IFNEC 運営グループ会合（局長級）が平成26年5月9日にルーマニア・ブカレストで開催された。また、これに先立ち5月5,6日には同会場にて、燃料供給サービスWGのワークショップが、8日には基盤整備WGの会合が開催された。以下に運営グループ会合の結果概要を報告する。

1. 運営グループ会合日程

開催日：平成26年5月9日（金）

開催場所：ヒルトン・ブカレスト（ルーマニア）

2. 主要国及び国際機関代表者

会合には、IFNEC “参加国”（Participant Countries、正式メンバー国）17カ国、“オブザーバー国”（Observer Countries）が2カ国、“オブザーバー国際機関”（Observer Organization）は1機関が参加（参加リスト参照）。主要国代表者は以下の通り。

○主要国代表者

ルーマニア（ホスト国）： タタル原子力庁長官

米国（議長国）： マクギニス エネルギー省次官補代理

日本（副議長国）： 中野 内閣府大臣官房審議官

仏（副議長国）： ドゥローヌ原子力・代替エネルギー庁国際局次長

中国（副議長国）： リー国家能源局部長代理

○日本出席者

（内閣府）： 中野審議官、貞安上席調査員

（経済産業省）： 日高補佐、神沢係長、鈴木調査員（燃料供給サービスWG 共同議長）、

3. 会合結果

（1）ホスト国、正副議長からの挨拶・報告

運営グループ議長である米国エネルギー省のマクギニス次官補代理より、会合ホストのAN&DR（ルーマニア原子力庁）に対し、1週間に亘るIFNEC諸会合の開催への謝意が述べられ。タタル原子力庁長官より、ルーマニアの積極的な原子力政策として、新規原発計画、中間貯蔵所の建設、核セキュリティーセンター計画が述べられた。

各国運営グループ副議長挨拶の中で、中野審議官より、福島第一原発事故後3年経過、各国の支援への謝意、福島第一原発4号機での燃料・デブリ取り出し開始、昨年9月以降は原発稼働停止中、原子力規制委員会により規制基準に適合すると認められた場合には再稼働を進める、「エネルギー基本計画」が閣議決定され、原子力発電は重要なベースロード電源と位置付けられたが、その規模は今後慎重に見極める、また核不拡散や核セキュリティ強化に必要な措置及び研究開発を進める等を述べた。

(2) IFNEC 活動の議長報告と今後の活動計画

マクギニス議長より、加盟国のコンセンサスが得られたことにより、2014年10月のソウル執行委員会会合から OECD/NEA をオブザーバー (permanent observer) として招待すること、及び事務局機能の委託に関する協議 (dialogue) を OECD/NEA と始めることの報告がなされた。

(3) 燃料供給サービス WG 主催のワークショップ結果報告

鈴木燃料供給サービス WG 共同議長より、5月5日・6日にブカレストで開催されたワークショップの報告がなされた。本ワークショップは昨年の IFNEC 執行委員会の指示に基づき開催されたもので、燃料供給サービスに対する産業界、原発新興国からの意見聴取を目的としたもの。民間企業からの参加者も含む16か国60名の出席者を得て開催された。鈴木共同議長については、本会合を以て共同議長を辞任することが承認された。

(4) 基盤整備 WG 会合結果報告

バーカート共同議長 (米)、マティソン共同議長 (英) より、運営グループ会合に先立ち5月8日に実施された基盤整備 WG 会合の報告がなされ、SMR (中小型炉) の展望、廃棄物管理と廃炉に関わる費用とファイナンス、人材育成活動に関する各国の取組みについて説明された。

(5) 原子力ファイナンスとプロジェクト構築

2011年の IFNEC 執行委員会会合にて「原子力プロジェクトへのファイナンスが抱える課題探求の為にワークショップ開催」が決議され、以降2回の IFNEC ファイナンス・ワークショップ (2012年ロンドン、2013年アブダビ) が広範なステークホルダを集めて開催された。本会合では、過去2回のワークショップの成果につき再確認を行い、引き続き原子力ファイナンス専門家3名 (バルカトラ・UAE 規制監督局部長、マーフィー・米国ミルバンク社カウンセラー、ワレン・IAEA 部長) による「ファイナンス決定までのプロセス」、「原子力ファイナンス・モデル比較」等のテーマについて詳細な説明があった。

(6) 今後の IFNEC 会合の予定

SMR ワークショップ： 2014年6月11日・12日 (ヨルダン、死海)

Resources and Gaps ワークショップ： 2014年8月11日 (ガーナ・アクラ)

第5回執行委員会会合： 2014年10月17日 (韓国・ソウル)

(前日16日に第8回運営グループ会合)

本執行委員会会合の共同声明 (事務局案) は7月中旬を目処

に、各国に提示される予定。原案作成にあたり各国からの提案を募る。

(7) その他

2014年5月現在、IFNEC参加国は32カ国、オブザーバー国31カ国、オブザーバー機関は3機関。

第7回 IFNEC 運営グループ会合 出席国リスト

参加国 (17 カ国)	オブザーバー国 (2 カ国) オブザーバー国際機関 (1 機関)
アルメニア アラブ首長国連邦 オーストラリア 韓国 ブルガリア 中国 フランス ドイツ ハンガリー 日本 イタリア ケニア ポーランド ロシア ルーマニア 英国 米国	エジプト 南アフリカ I A E A

参考:IFNEC参加国及びオブザーバ国・機関

IFNEC 参加国

1. アルゼンチン
2. アルメニア
3. オーストリア
4. バーレン
5. ブルガリア
6. カナダ
7. 中国
8. エストニア
9. フランス
10. ドイツ
11. ガーナ
12. ハンガリー
13. イタリア
14. 日本
15. ヨルダン
16. カザフスタン
17. ケニヤ
18. 韓国
19. クウエート
20. リトアニア
21. モロッコ
22. オランダ
23. オマーン
24. ポーランド
25. ルーマニア
26. ロシア
27. セネガル
28. スロベニア
29. ウクライナ
30. アラブ首長国連邦
31. 英国
32. 米国

IFNEC オブザーバ国・機関

1. アルジェリア
2. バングラディシュ
3. ベルギー
4. ブラジル
5. チリ
6. チェコ
7. エジプト
8. フィンランド
9. ゲルジア
10. ギリシア
11. インドネシア
12. ラトビア
13. マレーシア
14. メキシコ
15. モルドバ
16. モンゴル
17. ナイジェリア
18. フィリピン
19. カタール
20. サウジアラビア
21. シンガポール
22. スロバキア
23. 南アフリカ
24. スペイン
25. スウェーデン
26. スイス
27. タンザニア
28. チュニジア
29. トルコ
30. ウガンダ
31. ベトナム

1. IAEA
2. GIF
3. EURATOM